

社会科見学に行きました！ (広島市郷土資料館)

10月21日(金)



まずは、宇品港を作った千田貞暁についての説明です。海も埋め立ててつくられたんですよ！！途中、工事のお金もなくなったけど、自分の財産を売って貢献したのです。そのおかげで広島は盛んになってきたんですよ。

宇品港について

宇品港を埋め立てた時は、機械はなかったので埋め立てる石などは、人が運んでいました。「天秤棒」っていいます。では、さっそくやってみましょう。



……思ったより
重たい……



八木用水について

桑原うのすけさんは、村の人々が困っている姿を見て八木用水を作りました。何度も何度も土地を調べて完成させました。うのすけさんは命をかけて八木用水を作ったそうです。





ここでは昔の道具について説明します。洗濯機や冷蔵庫・テレビは今とはずいぶん違いますね。今では薄くなったテレビも昔はこんなに大きかったんですよ！

国語科「ごんぎつね」で出てきた昔の道具が展示されていました。火なわじゅうって結構大きいし、迫力があるなあ。兵十は、びくやはりきりあみを使ってウナギをとっていたんだね。

